

第43回三重県埋蔵文化財展

古代の土器生産



令和6年 令和7年
12月7日(土) ~ 1月19日(日)

会場 齋宮歴史博物館 特別展示室
三重県多気郡明和町竹川503

開館時間 9:30~17:00

(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

12月29日~1月3日

観覧料 無料

(常設展を見学の場合は別途観覧料が必要)

主催 三重県埋蔵文化財センター

共催 齋宮歴史博物館

三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL:0596-52-1732 E-mail:maibun@pref.mie.lg.jp
URL: <https://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>

第43回三重県埋蔵文化財展



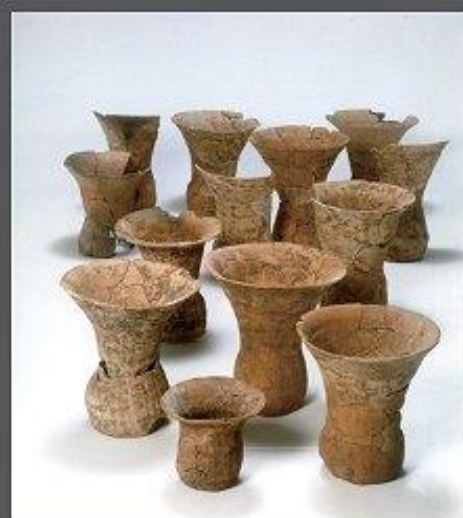
土師器焼成坑



土師器焼成坑群と掘立柱建物



出土した土師器



有孔広口筒形土器

齋宮が所在した明和町とその周辺は、古代から現代に至るまで連綿と土器生産が続けられている地域です。古代の土器生産については、北野遺跡等の土師器を生産した遺跡の発掘調査が進み、その実態が解明されています。そのため、今回の埋蔵文化財展では特に土師器生産にスポットをあてた展示を行います。

明和町北野遺跡の発掘調査では、6世紀中頃から8世紀末まで土師器焼成坑で土師器生産が行われていたことがわかっています。

土師器焼成坑とは、隅丸台形や二等辺三角形に地面を掘り込み、中で土師器を焼いた穴です。今回の展示ではその特徴について解説します。また、北野遺跡では約250年間の長きにわたり土師器が作り続けられたため、土師器やその焼成坑を時代順に並べることによって、その形や作り方等の変遷がよくわかります。

さらに近年、明和町本郷遺跡ではこれまでの調査では分っていなかった9世紀初めの土師器焼成坑が見つかり、その出土品も展示します。

今回の展示をご覧いただき、齋宮とともに栄えた古代のモノづくりに思いをはせていただければ幸いです。

主な展示資料

- ・北野遺跡出土品（三重県埋蔵文化財センター保管）
- ・水池土器製作遺跡出土品（明和町所蔵）
- ・本郷遺跡出土品（明和町所蔵）
- ・烏墓遺跡出土品（明和町所蔵）

記念講演会

「明和町北野遺跡を中心とした土師器生産について」

講師 上村 安生（三重県埋蔵文化財センター）

日時 令和6年12月14日（土）

13時30分から15時（予定）

場所 齋宮歴史博物館 講堂（先着120名）

参加費 無料